

投資事業評価調書（新規）

部課室名	水産課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	水産課長 楠 本 正 博 (近 藤 敬 三)	内線	4149 (4163)
------	-----	---------------------	------------------------------	----	--------------------

事業種目	漁場整備開発	事業名	事業区間	総事業費	約4億円	
		増殖場造成事業	南淡沼島地区	内用地補償費	- 億円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
三原郡南淡町沼島地先				H 1 6	H 1 6	H 1 9
事業の目的			事業内容			
<p>瀬戸内海では、海面の埋め立てによる浅海域の藻場の減少によって、稚魚の育成環境が悪化し、再生産力が低下している。また、限られた漁場で多くの漁船が操業するため、水産資源への漁獲圧力が高くなっており、その減少が懸念されている。</p> <p>水産資源の維持培養を図るため、稚魚等の育成に適した増殖場の造成を行う。</p>			<p>対象生物 : マダイ 増殖場造成 : 4.9ha (餌料培養礁、保護礁) 事業費内訳 : 国 50%、県 50%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>本事業は、漁港漁場整備長期計画（H14～H18）において、県瀬戸内海海域の水産資源並びに漁業生産の維持増大を図るための主要な事業の一つとして位置付けられている。</p> <p>マダイは、沿岸の漁獲魚の中で高級魚として重要であり、地元の要望が強い。マダイ資源の増大によって受益を受ける漁業者の割合は83%を占めている。</p> <p>近年、南淡地区における漁獲量は減少傾向を示しており、さらに生産者価格が低迷しているため、漁業生産金額が低下しており、漁業経営は苦しい状況にある。</p> <p>この現状に対して、この海域に生息しているマダイの増産による漁業生産量の増大によって、漁業経営の安定化を図る。</p> <p>増殖場の造成によって16.1トンの増産が期待され、漁業が主幹産業である当地域の活性化の貢献が大きい。</p>					
(2)有効性・効率性	<p>南淡地区は一本釣、刺網等の沿岸漁業が盛んであり、増殖場の造成による漁業生産増大がより期待できる地区である。</p> <p>地元漁業者、南淡町の期待も大きく、事業実施時の協力を得ることができる。また、施設の維持管理を地元漁業団体に委託予定である。</p> <p style="text-align: center;">費用便益比 B / C = 1 . 1 2</p>					
(3)環境適合性	<p>増殖場造成による生物量の増大によって、周辺海域の環境の修復・創造が期待される。</p>					
(4)優先性	<p>当地区を中心とする淡路島南部の沖合海域は、瀬戸内海東部のマダイの越冬場となっており、当地区の漁場整備は瀬戸内海東部のマダイ資源の増大にとって重要である。</p>					